

民俗文化財調査いよいよスタート!

信楽焼製造用具を収集

★地域の文化をよみがえらせよう!!

文化財保護課では、新生甲賀市の出発を契機として、甲賀市が持つ豊かな歴史文化を明らかにし、市民が丸丸となってふるさとを大切にする郷土愛が育まれるための事業を行っています。

特に、社会構造の変化が著しい中であって、資料の散逸や伝統行事の消滅が予想されることから、一刻も早く記録保存し、時代時代の生活の移り変わりを伝承していくことが必要となります。

今年度から、文化財保護法の改正に伴い、新しく民俗技術の視点が導入され次代につながる地域づくりのため、市内の民具資料の収集と保存に努めています。

信楽焼製造用具の収集をはじめ、配置売薬関係資料、山村生活用具や水口や土山の街道銘産品など、地域の特色ある民俗技術に光をあてるための収集調査を始めます。

なつかしい地域の伝統文化に新しい時代の光をあて、共に地域文化をよみがえらせていきましょう。



▲甲賀配置売薬関係資料



★皆様のご支援・ご協力をお願いします!!

甲賀市という広い地域の中での新たな民俗資料の収集となることから、市民の皆さんの情報提供はとても重要となります。未だ知られていない貴重な資料が埋もれていることと思います。

まずは、どんな資料や情報でも結構ですので、文化財保護課まで情報をお寄せください。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】

文化財保護課 ☎86-8026 FAX 86-8380

今年(い)は(わ)巖(い)谷(ち)一(ろ)六(く)さん没後100年です

皆さん巖谷一六さんをご存知ですか。

一六さんは旧水口藩士で明治を代表する書家です。

一六さんは水口藩の藩医の家に天保5年(一八三四)に生まれます。明治維新にあたって新政府に出仕し、諸官を歴任し、明治24年(一八九二)には貴族院議員になっています。

また、書家としては青年期から高い評価を得ていたとされます。とくに明治13年(一八八〇)、清の金石学者楊守敬が来日すると、日下部鳴鶴・中林梧竹らとともにその強い影響を受けて書風を一変させ、その後の書道界に革新の風を起します。

一六さんの足跡は、大岡寺の栗園中村先生寿蔵碑をはじめ、額や掛け軸、屏風等に人柄を偲ぶことができます。

水口歴史民俗資料館に併設されている巖谷一六・小波記念室では巖谷親子のことを詳しく紹介しています。

そして、その一六さんが亡くなられて今年でちょうど一〇〇年になります。水口歴史民俗資料館では、郷土の偉人であ

る巖谷一六さんの没後一〇〇年に際し、記念イベントを行います。

7月に講演会と巖谷一六・小波記念室での展示、また冬には一六さんの企画展を計画しています。詳しくは広報でお知らせします。

【講演会のお知らせ】

■日時
7月23日(土) 14時〜
■会場
市立水口図書館
2階研修室

■演題

「巖谷一六と楊守敬」
講師 杉村 邦彦さん
(京都教育大学名誉教授)



巖谷 一六さん

【問い合わせ】

水口歴史民俗資料館
☎ 621-7141
FAX 631-4737